第4期阿久比町高齢者保健福祉計画（老人保健福祉計画・介護保険事業計画）（案）のパブリックコメントの意見募集の結果

意見（要旨）	意見に対する町の考え方
<p>計画は、具体的に、そして計数化が必要ですが、保険料が算出されるに至った経過がよく分からない。</p> <p>計画の進捗管理をどうするのか。</p>	<p>保険料の推計については、国が配布しているサービス見込み量及び保険料推計ワークシートに基づき、算定を行いました。具体的な手順を第4期阿久比町高齢者保健福祉計画に示します。</p> <p>計画策定後、介護保険計画推進委員会で計画の進捗管理を行っていきます。</p>
<p>事業計画に関する収支計画を明確にするために事業計画に関する事業の歳入・歳出のバランスシートを示すべきである。</p> <p>期ごとに策定される計画策定時に支出されている計画策定に関する作成費等が多額に支出されていることが決算書にありました。可能な限り節約に努められることを強く要望します。</p>	<p>介護保険制度では歳出に応じて国、県、市町村、1号・2号被保険者が決められた比率に基づき負担する仕組みになっており、計画策定に関する作成費などの事務に係る経費等は、一般会計からの繰入金で処理しております。このため、本計画では、第1号被保険者の保険料のみを取り扱うこととなっていますので、歳入・歳出のバランスシートの作成はしておりません。</p> <p>なお、保険料の具体的な算出方法を計画書に記載します。</p> <p>計画策定に関する作成費などの事務に係る経費等につきましては、節約に努めてまいります。</p>
<p>高齢者数、高齢化率等高齢者に関するデータの数字は高くなってきているにもかかわらず第4期の月額保険料基準額は、3,650円でよいのか。</p> <p>また、介護給付費準備基金の説明が必要である。</p>	<p>本町の場合、第2期にはサービス利用が大幅に伸びたこと、しかしながら保険料は低く抑えたことから、保険料が足りず、県の財政安定化基金からの借入れがあったため、その返済も含めて第3期の月額保険料基準額は、4,380</p>

	<p>円になりました。</p> <p>第3期には介護報酬の改正等の介護保険制度の大幅な改正がありました。また、制度が定着し、サービス利用も第1期、第2期の伸びに比べて安定期に入っており、第4期においては、今後のサービス利用の伸びも十分に考慮した推計としています。</p> <p>基金については、介護保険特別会計財政の健全な運営に資するため、全国の市町村等が条例に基づき介護給付費準備基金を設置しています。基金に積み立てた額は、給付費等と保険料の差が生じた場合に積み立てたものです。</p> <p>第3期においては、財政安定化基金の返済が完了し、基金を積み立てることができました。この基金については、できる限り取り崩し被保険者に還元するように国からも指導がされています。第4期では、第3期において保険料の負担をいただいた町民の方々に還元するため、基金の取り崩しをして、保険料の抑制をしたいと考えています。</p>
<p>第4期の計画を策定する際、知多半島の他市町等との保険料等の比較検討がされているか。</p>	<p>他市町等の保険料の算定については各市町等それぞれ内容が異なっており、比較することはできないと考えます。</p> <p>なお、介護サービスを使う人が多くなれば、それに対応するように保険料も上昇していきます。</p>